

## 第4回 学校運営協議会 議事録

日時 : 令和6年1月17日(水) 14時30分～16時

場所 : 明保中学校 ICT教室

出席者 : 会長 妹尾 久雄  
副会長 早乙女 勇一  
委員 鈴木 綾  
委員 友田 弓子  
委員 吉村 真理子  
委員 澤井 稔 (校長)  
委員 矢崎 慶 (副校長)  
海老塚京子 (教員)  
小川 壮司 (教員)

### 1 あいさつ

#### ・会長より

来年度も今年度同様、委員の皆様のお力をお借りして取組んでいきたい。よろしくお願ひします。

#### ・校長より

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

現在、今年度の評価として保護者による学校評価アンケートを実施している。まだ途中経過だが、前年に比べて肯定的な回答が増えており、子どもの頑張りや教員の努力も感じられる。アンケートの自由記述欄にいただいたご意見・ご要望については、教職員と共有しながら課題を改善していきたい。令和5年度経営方針と反省を踏まえて、令和6年度の経営方針(案)を示させていただき、次回の学校運営協議会でご承認いただきたい。

### 2 各委員より報告

#### (1) コーディネーターより

コミュニティスクールに指定された令和3年度から令和5年度までの3年実施校として、これまでの地域学校協働活動の取組をまとめた。(資料参照) 次回の学校運営協議会で来年度の活動内容の方針を決めていきたい。「BAND」というアプリケーションを活用し、多くの卒業生に登録していただいている。地域や

OB・OGの繋がりを大切にしていきたい。

(2) 委員より

放課後ステイルームを2学期期末考査前の3日間、放課後に実施した。延べ46名の参加があった。来ていた子どもはこの場を大切にされていて、真面目に静かに勉強していた。活用してもらえている間はこの取組を続けていきたい。

(3) 学校より

学校関係者評価について

3 今年度の振り返り

- ・二人の子どもがお世話になっているが、親としてさまざまな思いで参加させていただいている。先生にはいつも寄り添っていただき感謝している。
- ・児童センターとしては、中学生は、小学生・高校生に比べると関わりが薄いと感じる。ちょっと行ってみようという気にはならないようである。来館した時はコミュニケーションを取るようにしている。児童センターに行ったら、何かができるという目的があれば良い。
- ・昨年実施した行事など一過性のものではなく今後も続けてほしいが、今年度は防災関係の取組ができて良かった。1月1日の能登半島地震を思うと、防災関係の取組は毎年実施していくべきだと思うが、学校の中での限られた授業時間で行うのは厳しいと感じた。共催という形でお手伝いとして関わるのが一番良いのではないか。コミュニティスクールになってから明保中が近く感じられるようになった。
- ・放課後ステイルームは今後も継続的に取り組んでほしい。ペンキ塗りなど継続するには生徒が主体的に取組み、周りが手伝うことで子どもたちが成長すると思う。
- ・学校、子どもたちのお役に立ちたいと思い関わったが、良い経験をさせていただき、あっという間の1年だった。来年度も取組に関わりたい。
- ・子どもたちに少しでも良い環境を提供できるように努めていきたい。

※ 次回 第5回学校運営協議会 令和6年2月14日(水) 14:30～